

平成27年国勢調査有識者会議各WGの開催状況について

【企画WG】

第1回 平成25年8月8日（木）14時～16時

- (1) 企画ワーキングの今後の実施予定について
- (2) 平成27年国勢調査第2次試験調査の結果（速報）について
- (3) オンライン調査の課題と対応について

《主な意見》

- オンライン回答率は、市区町の地域格差があるようなので、地域特性と回答率にどのような傾向があるのか分析することが必要。
- システム関係で最大ピーク時にどのくらいのアクセスがあるのか、また、トラブルが発生した場合の対応策など、第2次試験調査の結果も踏まえ準備しておくことが大事。
- 関係機関への協力依頼については、総務省で全国規模の団体への協力依頼を行っても、末端の地方団体まで行き届いていない場合が多い。関係機関における伝達期間も踏まえた協力依頼を行うことが必要。

第2回 平成25年11月21日（木）16時～18時

- (1) 平成27年国勢調査第2次試験調査の実施状況について
- (2) 平成27年国勢調査の実施に向けた市区町村における実施状況把握の結果について
- (3) 平成27年国勢調査第3次試験調査の調査方法について
- (4) 平成27年国勢調査の調査事項について

《主な意見》

- 全ての世帯が対象となる国勢調査において、調査期間中にオンライン調査システムがダウンしてしまった場合の影響は大きい。キャパシティに余裕のある仕組みにする必要がある。
- インターネット回答の推進に当たっては、自宅での回答だけでなく、勤め先や回答ブースの設置などについても、セキュリティ面を考慮しながら検討すべきではないか。
- 社会福祉施設に類する施設が多様化しており、公的な施設以外にも民間で行う介護サービス付住宅なども増えてきていることから、調査実施上、これらをどのように定義するのか整理が必要。

【広報WG】

第1回 平成25年10月18日（金）15時30分～17時30分

- (1) 広報ワーキンググループ会合の今後の実施予定について
- (2) 平成22年国勢調査の広報実績について
- (3) 平成27年国勢調査の広報テーマ等について

《主な意見》

- これまでの広報はメディアミックスを中心に展開してきたが、現在はインターネットの利用等様々な手段が考えられる。新たな手段をどのように活用していくか検討すべき時期にきている。
- インフルエンサーの活用やストーリー性のある広報コンテンツの作成、オープンデータとの連携や統計ブームの利用など、面白いと思ってもらえる企画によって興味を引くことが重要。

【環境WG】

第1回 平成25年10月25日（金）16時～18時

- (1) 環境ワーキンググループの今後の実施予定について
- (2) 平成22年国勢調査の取組状況
- (3) 平成27年国勢調査の実施に向けた市区町村における実施状況把握の結果概要
- (4) 平成27年国勢調査に向けた今後の課題について

《主な意見》

- アパート・マンション等の空き室情報の提供に関しては、早い段階から管理会社に対する情報提供の依頼・交渉を行うなどの取組が必要。
- 調査員確保対策では、学生やシルバー人材センターなどの幅広い層へ働きかけ、連携策を講じる必要がある。
- 調査員確保に当たっては、早い時期からの募集対策を実施すべき。